

令和5年度学校評価の分析

令和6年2月15日(木)全教職員による研修にて

※()内の割合は、前年度の評価→今年度の評価

<今年度の成果について>

- ・ 保⑭「児童一人一人に対して、ていねいに対応できている」(78%→98%)
- ・ 保⑯「立小だより, 学年だより, 保健だより, HP等で学校の方針や取組がよく分かる」(86%→98%)
- ・ 保⑫「児童の良さを伸ばす指導ができている」(81%→90%)
- ・ 児⑥「授業は分かりやすく楽しい」(79%→87%)
- ・ 児⑧「授業中, 自分の考えを発表している」(64%→79%)
- ・ 児⑤「学校の先生は, 困っているときに相談にのってくれる」(90%→93%)
- ・ 児④「学校の先生は, いじめのないクラスにしようとしている」(96%→98%)
- ・ 教④「保護者や地域との連携が図れている」(100%→100%)
- ・ 教⑪「授業時数が適正に確保できている」(100%→93%)

<次年度に向けての課題について>

- ・ 保④「本をよく読んでいる」の評価が低い(53%→40%)
- ・ 保⑮「児童が安心して過ごせるよう, 友達関係によく心配りしている」(89%→82%)
- ・ 保⑧「家でまわりや約束がきちんと守れている」(97%→79%)
- ・ 保⑨「家でお手伝いや掃除がきちんとできている」(82%→69%)
- ・ 児⑨「勉強で分からないことは質問している」(71%→66%)
- ・ 児⑪「好きな本に出会えている」(81%→73%)
- ・ 児⑫「あいさつをしたり, あいさつを返したりしている」(93%→89%)
- ・ 児⑰「休み時間は, 運動場(体育館)で体を動かしている」(86%→82%)
- ・ 教⑰「コンプライアンス研修で, 服務規律の意識が高まっている」(100%→86%)
- ・ 教⑨⑩教員としての技能や授業力の向上について(いずれも100%→87%)
- ・ 教⑱「勤務時間管理と業務改善への意識改革が進んでいる」(100%→86%)

<継続・発展させたい取組や具体的改善策等について>

- ・ 電話連絡や学年だより等で, 学校のことを丁寧に伝えていく
- ・ 保護者にとって分かりにくい(答えにくい)項目があるので, 項目を考え直す
- ・ 読書の宿題を出したら, 1行でも感想を書くようにすることと, 1か月に1回程度, 親子で読書を振り返って感想を書いてもらう
- ・ 6月の参観授業の後, ゲームの怖さやネット依存をテーマにした研修(講演会)を行う
- ・ 分かりやすく楽しい授業を継続させる(授業力の向上)
- ・ 困っている児童がヘルプを出しやすい環境づくり(TTの授業を増やす)
- ・ 常時活動のない委員会によるあいさつ運動の実施
- ・ 集会活動や校外学習, 出前授業等の継続化
- ・ 授業時数が十分なので, フレキシブルな時間割編成に
- ・ コンプライアンスを含めた研修全体のあり方を検討する(計画的に様々な内容で)

※改善策については, 今後より具体的な方法や取組について協議する